

L P ガス C P 情報(2013年8月積み)

1. 8月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 820^{ドル} (前月比 +25^{ドル})
 ブタン 820^{ドル} (前月比 +30^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、不需要期にも関わらず堅調な需要と原油市況の高騰により高値で推移した。産ガス国のスポット供給はサウジ、カタール等に余裕があったが、需要が伸びているインドネシアが買いテンダーを出したほか、中国、タイからも引き合いがあり市況は堅調に推移した。直近のアラムコのFOBスポットがプロパン、ブタン(33:11 8月中旬積み)820^{ドル}で販売され、また、CP先物市況も815~820^{ドル}どころとなっていた。CP先物はバックワーデーション(期先安)となっているが、期近8月限と期先10月限の格差は10^{ドル}程度。一方、ナフサが870~915^{ドル}で推移、月間平均で前月比30^{ドル}の上昇、ブタン安が解消した。フレート市況はFOBスポットとアクセプタンスの関係により高値で推移した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン0.5ポイント、ブタン1ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン2、ブタン1ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	75	69	73	75	73
CP先物指標:P	790	812	814	815	808
CP先物指標:B	790	817	819	820	812

② 原油市況等

原油市況をみると、7月のWTIは97^{ドル}、ドバイ99^{ドル}台でスタート。米国経済指標の改善とエジプト等中東情勢の悪化による地政学リスクが下支えし、米国原油在庫が4週連続で急減(合計3,000万バレル1982年以来最大)したこと、米国の量的緩和策の継続見通しなどにより急騰、第3週19日には108.05^{ドル}と終値としては昨年3月以来の水準まで上昇、一時ブレント価格を上回った。第4週以降は上げ過ぎ感から調整局面。一方、株高が続き、リスク許容度が高まり商品市場にも投機資金が流入、WTIの建玉(総取組高)は16日に188万枚の過去最高を記録、大口投機玉ネット買い越しは23日で36.1万枚と過去最高を更新した。

- 7月積みアラビアンライト(7月1~30日まで)は104.987^{ドル}(前月比+2.652^{ドル})
 熱量等価AL100% プロパン860.78^{ドル/トン} ブタン848.98^{ドル/トン}
 AL比 プロパン95.26% ブタン96.59%

2. 2013年8~9月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	100.38	82,312	82,312	+3,200	+3,700
26~25日②	100.80	81,400	81,100	+5,000	+3,700
1~31日③	100.77	81,000	80,600	+6,000	+4,100
1~31日④	100.77	81,400	81,100	+5,600	+4,300

*TTS平均は①が7月16日~7月31日まで、②は6月26日~7月25日
 ③、④は7月1~31日、①は9月仕切への影響、②~④は8月仕切適用。

③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。